

1 提案者

山野井 和希(大町市立大町中学校)

2 授業内容

(1)単元名 「民主主義と多数決の近くて遠い関係」【「中学道徳②」(光村図書) P.89～P.92】

(2)利用した単元「ぼくらの村の未来(ココロ部)」

(3)授業のねらい

民主主義の内容を理解した生徒たちが、「ぼくらの村の未来(ココロ部)」で視聴した村の人たちの問題をどのように解決するかを考えることで、民主的な物事の解決方法を実感することができる。

(4)授業の実践記録

段階	学習活動	生徒の様子	指導・助言
導入	①物事の決め方にはどのような方法があるかを確認 ②教科書を読み、民主主義と多数決の違いについて確認	①「多数決」 「じゃんけん」 「くじびき」など ②多数決 →数が多いか少ないかで決める 民主主義 →より良い方法を考えるなど	②教科書「中学道徳②」(光村図書) P.89～P.92 までを範読する
展開	①ココロ部の「ぼくらの村の未来」を視聴 ②本日の問いの設定 ③個人でどのような結論・方法がよいかを考える ④グループ内で結論を出す ⑤クラス全体で考える(班ごとの発表)	本日の問い：村の人たちはどのような結論を出すことが一番いいのだろう ③ ・道路の資金をため、森を邪魔しない短い道路を作る。 ・トンネルにして排気ガスを出さないようにする。 ・新しい道路を作るくらいなら今ある道路を整備する。 ・キノコが命より大事なわけない。 ・3時間の道を観光地にする。 ④ ・トンネル、橋を通して、自然を保護する。 ・村にスーパーやコンビニを作る。 ⑤ ・もともとあった道を整備し、自然を守りながら、便利な生活を出来るようにする。 ・電気自動車が多くなるから、これからはあまり環境に影響はない。 ・橋を通して、自然を壊さないようにする。	① 動画を流す ⑤班ごと指名し、発表させる →出た意見に対し、どんな反応がありそうかを生徒に問う

		・道を整備して、観光客を呼び、手に入れた資金で自然を守る。	
まとめ	感想の記入	・自分の意見はそれぞれもっているが、全部の意見を反映するのは難しい。 ・多数決は早く決まっていが、全員は納得しない。民主主義はより多くの人を納得させられるけどなかなか決まらないというメリット・デメリットがある。 ・より多くの人意見を聞いた方がより良い答えが出やすいと感じた。 ・民主主義は決定権がみんなにあるから決定するのが難しい。 ・国や県のレベルで全員が納得できるというのは難しい。	出た意見をもとに感想を記入させる

3 考察

- ・この授業を行い、生徒の多くが「民主主義」は難しいと感じることができた。
- ・この授業を行う前までは、ほとんどの生徒は「多数決」と「民主主義」はほとんど同じものだという感覚で、クラスで何か決める際も少数意見を尊重する考えはあまり感じられなかった。しかし、「ぼくらの村の未来(ココロ部)」の事案を検討する際は、ほとんどのグループが両者の折衷案を提示した。これは事前に教科書で「多数決」と「民主主義」の違いについて考えたことが大きかったと感じる。
- ・「難しさ」を感じることができたのは動画のよるものが大きいと感じる。どちらの考えにもメリット・デメリットがあり、互いに譲らない様子から、いかに両者を納得させるかというところで、生徒はとても悩んでいる様子だった。
- ・今回の授業のように教科書の内容を具体的に考えるために「NHK for School」の動画を効果的に使いことは非常に有効だったと考える。
- ・今回の学習で民主主義の難しさを学習した2年生が、生徒会の引継ぎに向けて活動する中で、より全校が納得できるような生徒会を創り上げてくれることを願っている。

4 要望

- ・民主主義という中学校2年生にとっては、イメージがつかみづらい概念であり、教科書だけでは授業が難しい教材であるため、「ぼくらの村の未来(ココロ部)」を視聴し、より具体的に考えることができたことはとても良かったと感じている。このように子供たちが問題を身近に感じ、心揺さぶられるような動画をこれからも作成していただきたい。